



言語療法では、医師の指示・指導のもと構音障害、失語症、高次脳機能障害、摂食嚥下障害のある方に対し、その機能の維持・向上を図ることを目的とした訓練・検査および助言・指導などを行います。

失語症

「話す・聞く・読む・書く」。それまで当たり前に使っていた“ことば”の機能が、脳血管障害や頭部外傷などの大脳の損傷によって自由に使えなくなる状態です。

失語症検査



綿密な検査・評価のもとに、失語症のタイプや重症度を評価し、個々に適した訓練を立案します。

失語症訓練

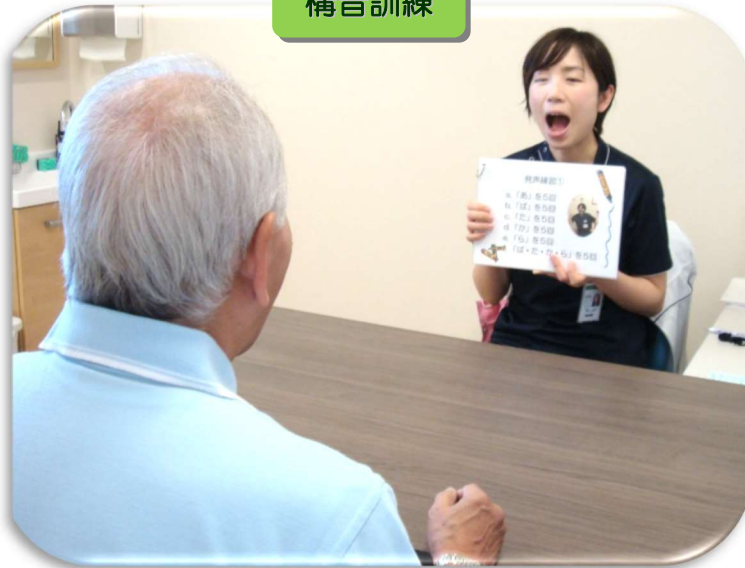


絵カードやドリルなど、さまざまな教材を用いて「ことば」を取り戻すための訓練を行います。

構音障害

舌や咽喉頭の麻痺、手術による切除などによって呂律が回りにくくなったり、明瞭な発声や発音ができなくなり、“聞き取りにくい発話になる”状態です。

構音訓練



舌や口腔器官の運動などを行い、明瞭な発声・発音を目指します。

摂食嚥下障害

舌や咽喉頭の麻痺、高齢による筋力低下などによって、食べものを咀嚼しにくくなったり、飲み込みにくくなって食べものが誤って気管に入ってしまったりする、「もぐもぐ・ごっくん」が難しくなる状態です。

摂食嚥下訓練



個々の摂食嚥下機能に合わせて、姿勢や食形態を調整し、安全に食べるための訓練を行います。電気刺激を利用した訓練も行っています。

高次脳機能障害

脳血管障害や頭部外傷など大脳の損傷によって、記憶力、注意力、情緒や行動、道具を使うなどの行為や言語機能、認知機能などに障害があらわれる状態です。

高次脳機能訓練



個々の障害に合わせて、バラエティに富んだ教材や訓練法を用いて機能回復を目指します。

その他の言語療法室の活動・取得資格など

- * 脳ドック高次脳機能検査・外来高次脳機能評価
- * 地域や院内での啓蒙活動（講義・講演）
- * 学会参加・発表
（日本言語聴覚学会、日本高次脳機能障害学会、日本摂食嚥下リハビリテーション学会、全国介護老人保健施設大会など）
- * 部署内勉強会・症例検討会、言語聴覚士実習生受け入れ
- * 認定言語聴覚士(摂食嚥下障害領域)・日本心理学会認定心理・LSVT®LOUD 認定士・日本摂食嚥下リハビリテーション学会認定士・日本呼吸ケア・リハビリテーション学会呼吸ケア指導士・ディサースリア・スーパー認定セラピスト・がんのリハビリテーション研修会修了・健康咀嚼指導士